

第十三回与謝野町 蕪村顕彰全国俳句大会

題字：宮津天橋高校加悦谷学舎書道部 林 杏奈さん（はやし あんな／1年）

令和6年11月24日、生涯学習センター知遊館において「第13回与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会」を開催。全国から約130人の俳句愛好家らが集うなか、各種表彰式や与謝蕪村にまつわる座談会を行いました。

☎ 社会教育課 ☎ 43-9026



右／事前投句（自由題の部）で与謝野町長賞を受賞された林さん（右）
左／選者の講評を聞く来場者の皆さん

蕪村ゆかりの与謝野に 集う、俳句の祭典

午前には、「事前投句」「令和のBuson俳句大賞」の表彰式を行いました。事前投句は令和6年6月20日から8月19日までの期間に募集。全国各地の814人の方から自由題の部に2394句、前書俳句の部に679句の応募があり、以下の各賞および両部門を通して蕪村顕彰の視点

から評価する蕪村記念賞「夏の宴」の表彰を行いました。また、町内の小中高生を対象とした令和のBuson俳句大賞には1083人の児童・生徒から応募があり、11賞を表彰。受賞した児童・生徒らは、自分の俳句を読み上げて披露してくれました。

その後、事前投句選者の塩見恵介氏、山田佳乃氏、田中春生氏、山尾玉藻氏による受賞俳句作品の講評が行わ

第13回与謝野町 蕪村顕彰全国俳句大会

入賞作品

【当日投句の部】入賞9句（2賞重複）

- 与謝野町俳句大賞
丹鉄の三分停車しぐれ来る
松井 宣子（兵庫県）
- 塩見恵介特選賞／南うみを特選賞
鬼の子よ見せたきものに水平線
荻 羊右子（京都府）
- 山田佳乃特選賞
与謝弧舟七千の松みな時雨る
うえの 燕（京都府）
- 田中春生特選賞
けふも織る丹後ちりめん雪ちらちら
白数 宏子（与謝野町）
- 山尾玉藻特選賞
神還りたまひし与謝の海のいろ
大山 文子（京都府）
- 岩城久治特選賞
蕪村忌の蕪村びいきの文庫かな
芦田 美幸（京都府）
- 山内利男特選賞
雪ばんば己が羽風に流れけり
貞許 泰治（奈良県）
- 上林ふらと特選賞
巨大柚子仏に一つ湯に一つ
奥野 温子（京都府）
- 西村洋平特選賞
帰り来て夫呼ぶ癖や枇杷の花
稲葉 麗子（兵庫県）

【前書俳句の部】入賞6句

- 俳句の背景などを書いた20文字内の前書きを添えた俳句。（選者／田中春生氏、山尾玉藻氏）
- 与謝野町俳句大賞
ホスピス棟一階一号楼
立ち尽くすその若き死に夕立ち
守屋 明利（東京都）
- 京都府知事賞
勇気を出して花火大会
指と指触れて花火は可燃物
寺津 豪佐（島根県）
- 与謝野町長賞
二〇二四年明けて大地震ふ
よく笑ふ子のありがたき二日哉
うえの 燕（大阪府）
- 宮津ロータリークラブ会長賞
母建在
灰汁巻と大書鹿兒島より粽
貞許 泰治（奈良県）
- 田中春生賞
はじめての曾孫
稚見せにこの日盛を来るといふ
武内 澄子（兵庫県）
- 山尾玉藻賞
西瓜割のあと
西瓜どう切るかで子らの揉めてをり
あびら 暉山（滋賀県）
- 蕪村記念賞「真夏の宴」
連日連夜
炎帝や酒呑童子にもてなされ
芦田 美幸（京都府）

【令和のBuson俳句大賞】入賞11句

- 令和のBuson大賞
風鈴がかなでる海の音色かな
梅本 歩希（岩瀬小6年）
- 京都府知事長賞
橋立や左右に秋の波の音
坂根 樹輝（橋立中1年）
- 与謝野町長賞
かたつむりぬるぬるつけてあるいてる
平野 美羽（三河内小1年）
- 与謝野町議会議長賞
ゆつくりと夕焼け色の海となる
尾瀬 陽香（岩瀬小5年）
- 与謝野町教育委員会教育長賞
中庭のひまわりゆれてごっつんこ
棕平 雄喜（岩瀬小5年）
- 与謝野町文化協会会長賞
春まつりみんなの声でドデッサッサー
西岡 蒼真（三河内小3年）
- 宮津ロータリークラブ会長賞
バトンパス麦茶を飲んで力わく
藤田 馨梨（市場小5年）
- 白数宏子賞
朝のにわひよ鳥の声聞こえたよ
伊藤 理央（岩瀬小2年）
- 南つみを賞
かじったらパキッと音がなるきゅうり
清水 美羽（山田小5年）
- 三宅美千子賞
獲物まで一列守る黒き蟻
小谷 太歩（橋立中1年）
- よさの四季賞
かきこおりしろつぶかけてしゃりしゃりしゃり
成毛 果依（加悦小1年）

①／令和のBUSON大賞を受賞した梅本さん（右）
②③／自身の句を来場者に披露する西岡さん（②）と成毛さん（③）



「みんなで語る 蕪村トーク」の様子